

第2回 ふくまる夢たまごセミナー



日時 7月5日(金) 18:00~20:00
場所 池田府市合同庁舎 7階大会議室

内容 おもしろ授業実践① 「特別活動」
講師 岡村 英樹 氏 (教育センター 指導主事)

おもしろ授業実践② 「英語」
講師 本田 光宏 氏 (学校教育推進課 指導主事)

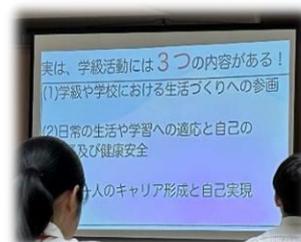
最初に、今回からの参加する塾生の自己紹介がありました。新たな仲間を歓迎したのち、今日のセミナーが始まりました。



「おもしろ授業実践①～特別活動～」は、岡村先生が、まず塾生に問いかけました。「特別活動は、教科書のない教育活動です。特別活動、学級活動って何をやる時間ですか。」

塾生からは、「お楽しみ会」「席替え」「係決め」等の声が上がりました。岡村先生が塾生に学級活動の根幹について丁寧に話をされます。

「学級活動では、話し合っ合意形成し実践すること、また、話し合っ意思決定し実践することから、社会における生活及び人間関係をよりよく形成する資質・能力を育てることにあります。」その具体として岡村先生がこれまで積み重ねてこられた学級活動の授業実践をお話しいただきました。





「おもしろ授業実践②～英語～」は、本田先生による楽しい英語のアクティビティから始まりました。

自己紹介のアクティビティでは、単なる自己紹介ではなく視点を交える（どんな力をつけたいのかを明確にする）だけで会話が広がっていくことを、塾生は実体験したようです。

塾生同士の「対話」を大切に進められたアクティビティを通して、塾生の会話も深まり、授業づくりについて考える機会になりました。



<塾生の感想から>



○特別活動では、何よりも子どもが主体で体験的に行うことが大切だと学んだ。そして「学級会は、子どもの時間である」ということ、それ自体を伝えることも必要だと感じた。実践のお話から、子どもの心残りや「やりたい」といった「～したい」という気持ちを大切にしていることを知り、先生がサポートする形が重要だと知った。

○英語の授業は、本当に苦手なので始まるまでドキドキだったのですが、ペアワークやクイズで楽しむことができました。自分自身がワクワクすることで、子どもたちもワクワクできると思うので、ワクワクできる授業づくりをしたいです。

○英語の「Who is this?」の問題では、面白いクイズ形式だったので、その後の学習に前向きに取り組めるきっかけになるのだと感じました。興味を持って学習できるきっかけが、各教科でも必要なのだと思いました。